

(2025年 10 月度)

実 施	令和 7 年 10 月 30 日		火	曜日	天気	晴天			
月例幹事	岩宮正治、伊藤忠志、増森戴子、佐々木富美子、大塚勝江								
地域/場所	相模原市原当麻／無量光寺／田名向原遺跡								
テーマ	座間市近隣の旧石器・縄文遺跡と無量光寺を訪ねる								
参加人員	当日参加者		26		名	募集時参加者		33	名
距離	移動距離		歩 数			行動時間	集 合	8:40	
	8	km	約	14,000	歩		解 散	13:50	

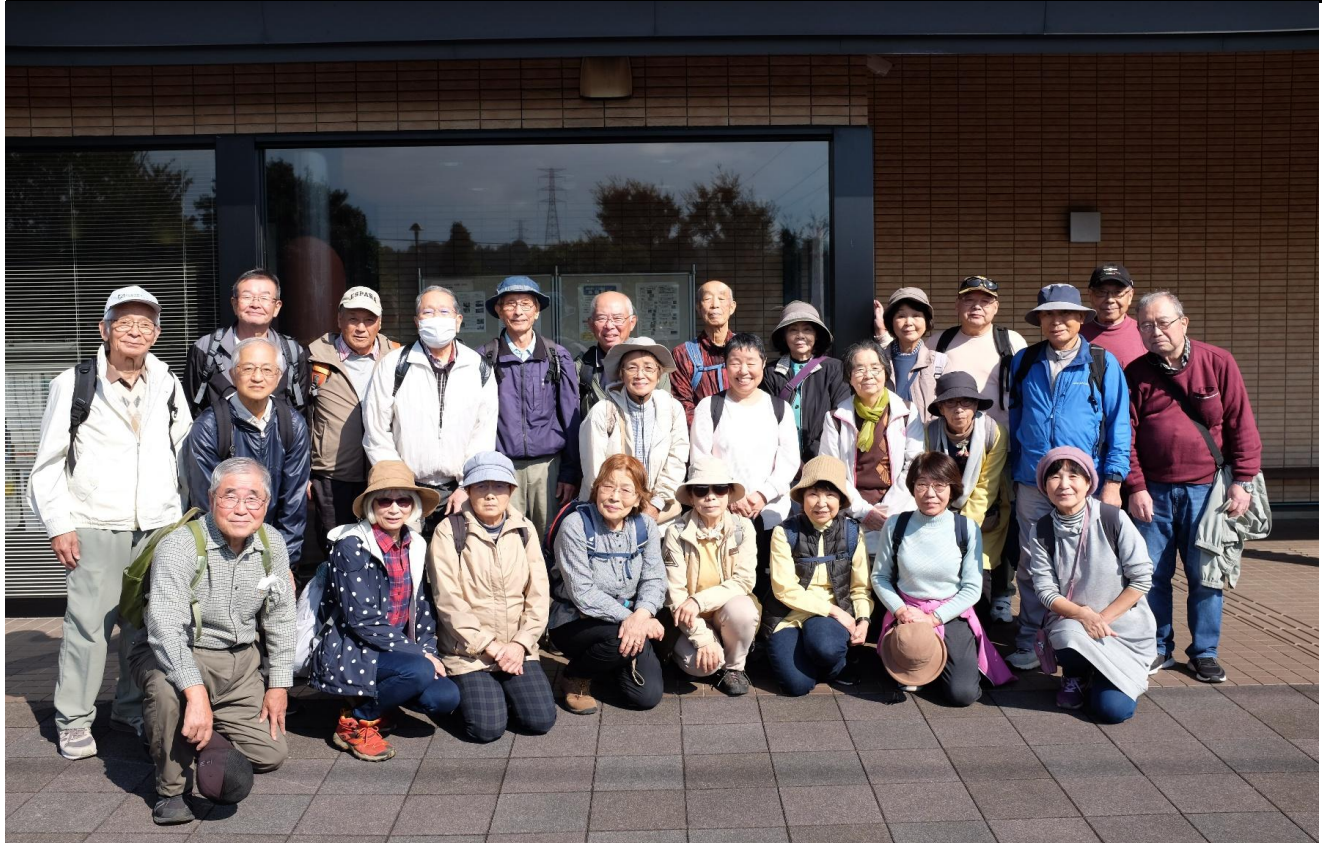
## 【感想・特記事項等】

3ヶ月に及ぶ長い夏休みが終わり10月に入りましたが、開催日を30日にしましたので4ヶ月振りの例会となりました。今回は「一金」の企画で部員以外の方の参加も募りました。門田さんと角田貴司さんが参加いただき総勢26名のウォーキングでした。朝の当麻駅は高校生であふれかえっており通勤ラッシュを思い出しました。最初の当麻東原公園には7世紀とみられる横穴式石室から副葬品が出土しているとの事です。2番目の無量光寺は一遍上人の草庵が結ばれた事に始まり、一遍上人の立像も拝めました。谷原古墳群が点在しているポンプ場を経由して、昼食の場所でもある田名向原遺跡学習館を目指します。正式名称は長いので「旧石器ハテナ館」と呼ばれているそうです。ハテナ館の担当の方の説明を2つのグループに分けて丁寧に説明いただきました。約1時間20分間の説明でした。田名向原遺跡は旧石器時代から古墳時代までつながっており縄文時代の土器の出土もありました。およそ2万年前から6～7世紀までの長い時代が続いているのです。約30分で昼食を済ませ12時15分にハテナ館を出発しました。緑化センター、天満宮、光明学園の横を通り原当麻駅に辿り着きました。14時の解散予定でしたが13時49分の電車で間に合いました。トラブルも無く全員無事に全行程を走破できました。無量光寺は行ったことがある方もおられましたが、ハテナ館で十分に時間が取れ内容豊富な説明で皆さんも納得いただいたのではないかと思います。

参加者名簿（敬称略・順不同）

計 26 名

A班	岩宮、松澤、斎藤、中川、小山、田中恵、西巻	C班	増森、岡部、大西、山本、菅原、加治佐、門田
B班	佐々木、阿部、角田、山田、服部	D班	伊藤、縄島、大村、森田、成嶋、田中久、鄭



## 座間市近隣の旧石器・縄文遺跡と無量光寺を訪ねる！

相模川沿いには遺跡が沢山点在します。  
一遍上人の念仏宗のお寺もあります。

日時：2025年10月30日（木） 8：40集合 時間厳守

集合場所：相模線原当麻駅 改札口 ※雨天中止の場合、前日連絡致します。

行程：原当麻駅 9：00 出発⇒当麻東原公園⇒無量光寺（写真撮影）⇒ポンプ場⇒田名向原遺跡（説明付き見学、昼食）12：00 出発⇒相模原緑化センター⇒天満宮⇒原当麻駅 14：00 解散。

持ち物：弁当（今回は途中にて昼食を摂ります。）飲み物（アルコール類は程々に願います。）昼食  
予定の田名向原遺跡の隣にはセブンイレブンがありますので昼食や飲み物は入手可能です。保険証。雨具・帽子（暑さが懸念されます）。敷物。



### 無量光寺

歴史的背景：無量光寺は弘長元年（1261年）、時宗の開祖である一遍上人によって草庵が結ばれたことにはじまります。正式には当麻山金光院無量光寺と号し、一遍上人立像を本尊に掲げる旧本山寺院です。

### 田名向原遺跡

旧石器時代をテーマにした施設で、発見された旧石器時代の住居状遺構から、人類の定住化の歴史を語る重要な遺跡として保存されています。約2万年前の建物の跡がみられるのは、日本でここだけです。ハテナ館では旧石器時代を中心に縄文土器や古墳の副葬品などを展示しており、野外展示では旧石器時代の住居状遺構、縄文時代の竪穴住居、古墳時代の小円墳が復元され、歴史や文化財について学ぶことができます。



#### 幹事

岩宮正治 伊藤忠志  
増森戴子 佐々木富美子  
大塚勝江

相模線入谷駅発 → 原当麻

◎8：08 発	→	8：18 着
◎8：23 発	→	8：32 着
8：37 発		8：49 着

申込期限：2025年10月21日（火）